

# 第18回 市町村研修担当者に聴く～可児市～

令和2年4月1日号

研修センターでは、「市町村自らの手による自らの研修実施」という基本理念のもと、各種研修機会の提供のほか、研修情報の提供、市町村等の自主的な取り組みについて積極的な支援を行ってきたいと考えています。今回は可児市役所にお伺いし実際の取り組みや研修業務に対する熱意をお聴きしました！

## 可児市役所 秘書課 河合 真琴 さん

### Q1.可児市の研修センターへの受講者派遣で気をつけていることについて

可児市では、年度の初めに職員研修計画を策定しており、計画に基づいて研修センター主催研修の受講者を指名しています。若手の育成に力を入れているので、階層別研修以外にも年齢・職責ごとに養ってほしい力を考えながら研修担当から指名しています。（採用2年目：公文書作成講座 採用5年目：仕事の効率アップ研修・レジリエンス研修等）

また、研修案内は全ての研修を周知するようにしています。やはり負担金なしで研修を受講できるのは魅力的なので積極的に活用しています。



### Q2.単独で行っている研修・取り組みや、広域で開催している研修について

階層別に研修を実施しています。管理職にはマネジメント研修、中堅職員にはリーダーシップ系などの研修を行っています。また、採用2年目の職員には、保育園やこども発達支援センターでの体験実習を実施しています。実際に業務を経験することで普段の業務では得られない気づきを得ることができますし、実習後には、上司や先輩職員が傾聴できるかたちで実績報告会を開催しており、フォローアップ研修としても位置付けています。子育て世代への支援は可児市の重点施策にも盛り込まれていますので推進していく上でも有効だと思います。

また、女性職員研修も開催しています。今回は大阪府吹田市の女性参事を講師としてお招きし、女性職員のモチベーションアップを目的に開催しました。私自身もワーキングマザーで、そのような研修があるという思いから企画しましたが、自治体職員としてのこれまでの経歴や仕事をする中でぶち当たった壁や困難など多くのお話を聴くことができたことは、有意義な研修会になったと感じますし、多くの職員が勇気づけられたのではないかと思います。

### Q3.人事交流など、他の機関への派遣について

後期高齢者広域連合や今年度までですが文化庁へも職員を派遣しています。

また、市町村アカデミー(JAMP)・市町村国際文化研修所(JIAM)・自治大学校へも毎年参加をさせています。研修担当から専門部署へ案内することで参加を促しています。

### Q4.職員への自己啓発の支援について

職員が自己啓発に励むことにより効果的に職務遂行能力の向上を図るとともに、政策課題や地域問題、事務改善等の調査研究活動を行いながら、政策形成能力、問題解決能力の向上を図ることを目的に支援しています。今年度については、8名・1グループの自主学習や自主研修に対し、助成金を交付しました。

### Q5.研修担当者として今後どのような研修を開催したいと考えていますか？

職員それぞれの職責や階層ごとに身に付けて欲しい能力を見極めながら、研修を実施していきたいです。特に「コミュニケーション能力」は市職員としてだけでなく、人としても必須だと思うので研修の中にも取り入れたいです。また、各部署からも研修依頼が入ることもあり、内容を見極めながらできる限り応えていきたいです。

### Q6.研修担当者として心がけていることは？

自分自身が“受講してみたい“楽しそうだな”と思う研修になるよう心がけています。

そのため、職員の方々から意見やアドバイスをいただいたり、自分自身で書籍などを参考にしたりして、いいなと感じた講師や研修があった時には、直接アタック！したりもします。また、事前に問題点や課題について情報を共有し、カリキュラムの調整やプログラム内容も綿密に打ち合わせしています。

研修効果というものは非常に見えづらいですが、日ごろから職員の様子などを見ながら、若手にはどう成長して欲しいか、管理職の方にはどのようなかたちで支援できるか、そんなことを考えながら研修を考えています。

#### 編集部より

年度末業務のお忙しい中、インタビューをお引き受けいただきありがとうございました。可見市では、研修計画や重点施策に沿って熱心に職員の育成に取り組んでおられる様子が伺えました。組織での研修に対する風土の高さを感じましたし、何より河合さんご自身が情報収集を常に行い、どんな人財を育てていきたいか、明確なビジョンを持って業務に取り組んでみえました。女性らしさを生かしてといった言葉も印象的でした。今後も市での独自研修・研修センターへの派遣など積極的に取り入れていただき人財育成の一助となれば幸いです。